



経営支援員と二人三脚



61人の経営支援員は地域の小規模・中小企業の経営改善と持続的発展に向け、支援を行っています。経営者とのコミュニケーションをしっかりと取りながら、課題の解決とさらなる発展に向けた支援活動を展開中。

「博物館を日常に」先代の教えを受け継ぎ 京都の美を紡ぎあげる刺繍技術

自社の強みに気づき
ブランド価値向上に繋がった
「知恵の経営報告書」

コロナ禍の影響で先行きが不透明になり、B to B 中心で販売していた自社のオリジナル商品を、直接消費者に提供する場を設けることで、顧客のすそ野を広げられないかと考えました。小売販売は未経験だったため、京商の支援を受けて必要なBAコードラベルや陳列台を準備し、SUINA 室町の1階に出店。当社の刺繍技術を活かした刺繍小物などが好評で、販路開拓に大きな手応えを感じました。

続いて、小売販売の更なる展開に向け、新しい自社商品の開発を試みました。経営支援員から、京商の知恵ビジネス支援事業を紹介頂き、自身の想いや今後の計画を形にするために、「知恵の経営報告書」の作成に取り組みました。報告書の作成と同時に、京商から派遣してもらった専門家には様々なアドバイスを頂きました。例えば、コロナ禍を機に販売を始めたオーガニックコットンの刺繍入りマスクが人気商品の一つだったため、正式にオーガニック認証を受けるよう提案頂き、オーガニック商品の強化に繋がりました。

「京都知恵産業フェア」で
広がった人脈と販路

昨年度の京都知恵産業フェアでは、鳥獣戯



代表取締役
田中 俊光さん

洛北 BSD
鈴木 支援員

画の刺繍入りちりめん財布などを出展。出展前には、京商主催の商談力向上セミナーに参加し、プレゼンテーションスキルを習得。京都らしさを押し出した鳥獣戯画の刺繍商品シリーズで、当社の技術を分かりやすく伝えることができ、販路の拡大に繋がったと感じます。

京商の支援事業を積極的に活用することで、当社にしかできないことや改善すべきことに気付き、また、京商の事業で知り合うことのできたバイヤーや専門家からアドバイスをもらうことで、新しい気付きを



オリジナルブランド Stitch Kiyo(スティッチキヨ)の「りらニック」シリーズは、おうちでセルフケアができるオーガニックコットン100%のあずきピロー。全ての商品には、あたたかく優しい色合いの刺繍が施されている。SUINA 室町1階の大垣書店で販売中。オンラインショップでも購入可。

企業情報

有限会社田中工芸刺繍

(代表) 田中 俊光
(住所) 京都市北区大北山原谷町36-24
(TEL) 075-4651-3922
(WEB) <https://www.tanakakougei.co.jp/>

得、お客様に楽しく使って頂ける、わくわく感を与える商品を生み出すこともできました。現在、鳥獣戯画の刺繍を背景に、四季折々のデザイン刺繍が着せ替えて楽しめるタペストリーを開発中です。
当社の経営理念でもある「博物館を日常に。京都文化の継承と新たな価値を創造する」を胸に、培ってきた刺繍技術で、美しく魅力ある商品づくりを進めると共に、京都の伝統文化を後世に残すことにも携わり、地域にも貢献していきたいです。